

カリキュラムの編成方法

中井 俊樹 (愛媛大学 教育・学生支援機構教育企画室長 教授)

講師略歴

専門は高等教育論および人材育成論。1998年に名古屋大学高等教育研究センター助手、同准教授などを経て2015年より現職。学長特別補佐、教育・学生支援機構副機構長、教育企画室長などを担当。愛媛大学の教育の質向上に向けたFD、SD、IRを始めとした諸活動の企画、実施、評価に加え、教職員能力開発拠点の活動として他機関における研修や組織開発支援を行う。近著として、『大学SD講座2 大学教育と学生支援』（編者、玉川大学出版部、2021年）、『大学SD講座3 大学業務の実践方法』（共編者、玉川大学出版部、2019年）、『大学SD講座1 大学の組織と運営』（編著、玉川大学出版部、2019年）などがある。

プログラム概要

教学マネジメントや内部質保証の体制を構築することが大学に求められるようになっていきます。しかし、教学マネジメントや内部質保証の体制は、教育目的を達成するカリキュラムを編成するための手段であることを理解しておくべきでしょう。

大学におけるカリキュラムは考慮すべき点が多く、編成することは簡単ではありません。このプログラムでは、各大学でカリキュラムをどのように編成することができるのかについて論点とさまざまな実践事例を紹介することで、みなさんの所属大学に適したカリキュラムの編成の方法を明確にしていきます。

みなさんには所属大学の3つのポリシー、学生便覧、カリキュラム評価の報告書といったカリキュラム関連資料を手元に置いていただき、ディスカッションやグループワークなどの活動に積極的にそして建設的にプログラムに参加することを期待しています。

準備物・事前課題

(準備物) 所属大学のカリキュラム関連資料(3つのポリシー、学生便覧、カリキュラム評価の報告書など)

(事前課題) 下記の文献をあらかじめ読んでおいてください。

<https://www.jaedweb.org/newspaper> において公開されています。

- ・中井俊樹(2020)「カリキュラムの構成要素を理解する 上」『教育学術新聞』令和2年5月27日号
- ・中井俊樹(2020)「カリキュラムの構成要素を理解する 下」『教育学術新聞』令和2年6月10日号

主な受講対象者

カリキュラムの編成や評価に関わる教職員

到達目標

1. 大学のカリキュラムの特徴と編成の基本原則を説明することができる。
2. 所属組織のカリキュラムの特徴と課題を抽出することができる。
3. カリキュラムの課題に関する基本的な課題解決の方法を提案することができる。
4. 他機関の教職員と共に学び合う雰囲気づくりに貢献できる。

日時

8月25日(水)15時00分～17時00分